

令和7年度「やまぐち生涯現役社会づくり章」一覧
(い き い き シ ニ ア 実 践 事 例)

【個人の部：3名】

市町名 氏 名	活 動 内 容	年 齢
出席 山口市 すえだ てつあき 末田 哲明	<u>サッカーにより優れた体力・気力等を維持し活躍</u> 地元チームの山口ダックスを中心に、県内の40歳以上のチームにお願いして60歳以上の選手を選抜し、平成9年に山口60雀サッカークラブを結成するなど、平成10年に行われた全国健康福祉祭のスポーツ文化交流大会サッカーの部に向けて山口県のチームづくりに寄与した。 当時は月2回の練習を行い、他に60歳以上のチームがなかったため、スポーツ少年団、中学生、女子チームを相手に試合を行った。チームメンバーは学生時代からサッカーをやってきた仲間なので、ユニホームを着ると非常に若返った気分になり、体が思うように動かなくとも大声を出して楽しく練習をしている。 全国健康福祉祭の成績は、優勝1回、準優勝3回、第3位6回	89 歳
出席 山口市 むらまえ じゅんこ 村前 純子	<u>絵画作品の制作と美術展への出品</u> 独学で日本画の制作を始め、主に自然風景をモチーフにした作品を山口県健康福祉祭美術展や全国健康福祉祭美術展に出品し、数々の入賞を果たしている。 山口県健康福祉祭美術展(日本画の部)で、これまで12回出品し、金7回、銀4回、銅1回受賞。 全国健康福祉祭美術展(日本画の部)の全国大会では7回出品し、金1回、銀2回、銅2回受賞。 山口県美術展、山口市美術展にも出展経験がある。	84 歳
欠席 山陽小野田市 よしとみ よりこ 吉富 依子	<u>舞踊を通したボランティア活動</u> 埴生民踊愛好会を毎週金曜日に埴生地域交流センターで指導している。 舞踊を通して、視覚、聴覚を刺激することで、健康の維持増進を図っている。 ボランティアとして施設訪問することで、地域の交流に努めている。 市のイベントや老人クラブ大会、敬老会等に出演し、会場を元気づけている。 生涯現役を胸に、おしゃべりを楽しみ、いきいきと活動している。	82 歳

(注) 年齢は令和7年10月22日時点

【グループの部：2グループ】

市町名 グループ名	活 動 内 容	人数	平均 年齢
出席 宇部市 上宇部地区老人 クラブ連合会 (上宇部まだま だクラブ)	<u>児童・生徒との交流による地域活動</u> (宇部市立上宇部小学校) ・走り方教室：日本一足の速い子の学校づくり。 ・昔あそび：子どもに小学校の頃の遊びを教える。 ・子ども食堂：子どもたちの居場所づくりと子どもたちのコミュニティづくり。 (宇部市立上宇部中学校) ・カラーリング教室：チームワークが大事な競技。 ・門松作り：もの作りの基本、日本の伝統を作りながら、継承。 (山口県立宇部工業高等学校・慶進高等学校) ・溝さらえ：高校生はボランティアの大切さを学び、地域の人との交流。 (新規の取組：宇部市立上宇部小学校) ・小学校から新たに依頼があり、楽しく覚える九九の学習の指導している。 ・九九をマスターした児童には、〇段名人と称号を与え、楽しみながら教えている。	103 人	76 歳
出席 光市 光市老人クラブ 連合会 若手部	<u>高齢者・要配慮者の避難を想定した防災活動</u> 令和4年度 虹ヶ浜自治会の居住地は海拔3m地帯であり、南海トラフ地震が発生すると津波が直撃する。指定避難所の小学校へは遠く、河川もあるため、高齢者や要配慮者は避難が困難である。そこで、最も近い高台の緊急避難所を選定し、光駅を挟んだ2連合自治会同士協働の呼び掛けにより避難受援訓練を計画し実践した。 令和5年度 島田川沿いにある光市立上島田小学校は、線状降水帯や南海トラフ地震津波が発生した場合、川の氾濫・土砂災害が想定される。従来の運動広場に緊急避難するルートでは、高齢者や要配慮者は取り残される分散避難の確立を要請され、ハザードマップの照査、防災まち歩きで危険場所の発掘、逃げ地図づくり図上演習を行い短時間・短距離・高台の施設を小学校校区の児童、PTA、老人クラブ、防災会が一堂に会し討論・検討した。防災まち歩きでは約80年間放置された地域の自然災害伝承碑に碑由来の紹介プレートを作製設置したことで地域の防災意識を高めることに繋がっている。	2,326 人	82 歳

(注) 平均年齢は令和7年4月1日時点

令和7年度内閣府「社会参加章」(山口県推薦関係)

【社会参加活動事例部門：1グループ】

市町名 グループ名	活 動 内 容	人数	平均 年齢
出席 周南市 防犯ネット かの	住み慣れた地域で、子どもたちが安心・安全な生活を送ることができることを目指して、周南市老人クラブ連合会鹿野支部が警察署、社会福祉協議会、青少年育成会議、保護者等と広く連携を図り、長年にわたって町ぐるみで活動を展開している。 最初は交通事故から子どもたちを守る活動を実施していたが、近年は熊が頻繁に出没していることから、未然に人的被害を防ぐため、通学路の見守りや注意を呼び掛ける活動を展開するなど、町の設置する熊対策緊急会議にも加わり臨機応変に地域に貢献している。	32 人	80 歳

(注) 平均年齢は令和7年4月1日時点